

有功社シトー貿易

平盤打抜機の効率を劇的に改善する方法 ～ヨーロッパ紙器工場に見る生産性向上の取り組み～をテーマに



BOXPLAN ストリッピングシステム



セミナーのもよう

セミナーでは、有功社シトー貿易(株)の谷口有三チーフディレクター、コンゴートテクノロジ(株)の芳賀拓海社長、本社(埼玉県さいたま市)で技術セミナーを開催。『BOXPLAN ストリッピングシステム』を初披露した。

この技術セミナーは、昨年6月に開催した、『平盤打抜機の効率を劇的に改善する方法』の続編となる。『BOXPLAN ストリッピングシステム』を、打抜き現場での経験をもとに製品開発を行って、ダイカッティング・ストリップングのスペシャリストである、ドイツのBOXPLAN社が開発。ストリップング型に自動で正確にピン打ちを行うことで、完璧でスピーディーなカス落としが生産性の向上につながる。

『BOXPLAN ストリッピングシステム』は、打抜き現場での経験をもとに製品開発を行って、ダイカッティング・ストリップングのスペシャリストである、ドイツのBOXPLAN社が開発。ストリップング型に自動で正確にピン打ちを行うことで、完璧でスピーディーなカス落としが生産性の向上につながる。

『BOXPLAN ストリッピングシステム』を、打抜き現場での経験をもとに製品開発を行って、ダイカッティング・ストリップングのスペシャリストである、ドイツのBOXPLAN社が開発。ストリップング型に自動で正確にピン打ちを行うことで、完璧でスピーディーなカス落としが生産性の向上につながる。

『BOXPLAN ストリッピングシステム』を、打抜き現場での経験をもとに製品開発を行って、ダイカッティング・ストリップングのスペシャリストである、ドイツのBOXPLAN社が開発。ストリップング型に自動で正確にピン打ちを行うことで、完璧でスピーディーなカス落としが生産性の向上につながる。

『BOXPLAN ストリッピングシステム』を、打抜き現場での経験をもとに製品開発を行って、ダイカッティング・ストリップングのスペシャリストである、ドイツのBOXPLAN社が開発。ストリップング型に自動で正確にピン打ちを行うことで、完璧でスピーディーなカス落としが生産性の向上につながる。

『BOXPLAN ストリッピングシステム』を、打抜き現場での経験をもとに製品開発を行って、ダイカッティング・ストリップングのスペシャリストである、ドイツのBOXPLAN社が開発。ストリップング型に自動で正確にピン打ちを行うことで、完璧でスピーディーなカス落としが生産性の向上につながる。

『BOXPLAN ストリッピングシステム』を、打抜き現場での経験をもとに製品開発を行って、ダイカッティング・ストリップングのスペシャリストである、ドイツのBOXPLAN社が開発。ストリップング型に自動で正確にピン打ちを行うことで、完璧でスピーディーなカス落としが生産性の向上につながる。

『BOXPLAN ストリッピングシステム』を、打抜き現場での経験をもとに製品開発を行って、ダイカッティング・ストリップングのスペシャリストである、ドイツのBOXPLAN社が開発。ストリップング型に自動で正確にピン打ちを行うことで、完璧でスピーディーなカス落としが生産性の向上につながる。

『BOXPLAN ストリッピングシステム』の解説に続き、実演とコンゴートテクノロジの工場見学が実施された。

『BOXPLAN ストリッピングシステム』の解説に続き、実演とコンゴートテクノロジの工場見学が実施された。

『BOXPLAN ストリッピングシステム』の解説に続き、実演とコンゴートテクノロジの工場見学が実施された。

『BOXPLAN ストリッピングシステム』の解説に続き、実演とコンゴートテクノロジの工場見学が実施された。

『BOXPLAN ストリッピングシステム』の解説に続き、実演とコンゴートテクノロジの工場見学が実施された。

『BOXPLAN ストリッピングシステム』の解説に続き、実演とコンゴートテクノロジの工場見学が実施された。

『BOXPLAN ストリッピングシステム』の解説に続き、実演とコンゴートテクノロジの工場見学が実施された。

『BOXPLAN ストリッピングシステム』の解説に続き、実演とコンゴートテクノロジの工場見学が実施された。

『BOXPLAN ストリッピングシステム』の解説に続き、実演とコンゴートテクノロジの工場見学が実施された。



セミナーのもよう



セミナー会場に展示された
コンゴテクノロジーの抜型



有功社 シトー貿易
谷口チーフディレクター

有功社シトー貿易の谷口チーフディレクターは、冒頭、お礼を述べるとともに、「12年前のシンポジウムでの技術を紹介した。しかし、まだ時期が早かったようで、導入には至らなかった。コンゴテクノロジー様がこの技術を日本で初めて紙器・段ボール工場に導入したいという強いご要望があり、去年ドイツから納入し、現在稼働している」。

さらに今、現場で耳にすることは、①採用活動をして、一人も来ない、②給料が上がらない、③仕事に魅力がない、④会社が成長しない、⑤相変わらず人海戦術だーを挙げ、「これが日本の現場での課題」と述べた。

「これらを少しでも解決し、

いかに生産性を上げるか、負荷のかかる作業を排除していくかをお客様に寄り添いながら進めていく。そのためには、生産性が向上する方法やツールなどの提案も行ってい



コンゴテクノロジー
芳賀社長

コンゴテクノロジーは、今年53年を迎える。2015年11月に現在の場所に新工場を建設した。「物づくりの技術をいかに最大限に発揮させるか」を建設のメインコンセプトとして設計され、完成と同時に世界最先端の設備を導入している。

さまざまな抜型製造のほか、設計管理ソフトや製造用のCADシステムなど自社で

きたい」。

「ドイツの賃金は日本よりも高いが、しっかり利益が出せているということは、生産性が高いということ。BOX PLANもドイツで生まれ

数多くのアプリも開発し、スपीディーかつ精度の高い生産管理を目指す。



た技術。ドイツは合理主義が浸透しており、その技術が詰まっている。ぜひ参考にしてほしい。弊社はこれからもいろいろなることにチャレンジしていく」とした。

またITのノウハウを基礎にしAI、IoT技術を取り入れた物づくりの自動化の実現とスマート工場づくりに注力している。

芳賀社長は「型を作っているのは本社工場のみ。現在社員は100数名、1拠点に集中しているメリットは、品質管理にとっても有効であること。月1回品質会議を行うとともに、研究開発部署をつくり、ソリューションを研究開発している。弊社の技術が一つでもためになればと思う」とあいさつし、抜刃や抜型などの製造技術、素材についてなど同社の最新技術を交えながら紹介した。



説明に使われた各種の抜刃

会場に展示された
シートシステムの資料



ボブストジャパン
キャステラ社長

ボブストジャパンのキャステラ社長は、機械メーカーの視点で「抜型の最適化」を強調した。

「世界のパッケージ市場のなかでも、日本ほどお客様からの品質要求が高いところはないといっても過言ではない。それだけに不良品の発生は大きな課題。いま日本のパッケージ市場に求められているのは、生産性をいかにアップするかということ。平盤打抜機の性能を100%引き出していくには、最適な抜型を作り、抜工程の効率化を追究すること。このセミナーはその視点からも意義深いものになると思う」と述べた。



ボブストジャパン
水林アカウント・マネージャー

ボブストジャパンは、「日本市場に向けたボブストソリューション」を紹介した。

日本の顧客が抱える課題と優先度は、品質、次に生産性やセット時間となっている。ボブスト社は「不良ゼロパッケージング」を応援。ボブスト社では、高性能の自動平盤打抜機でもツールがしっかりとしていなければ機械の性能は発揮できないと考えており、ツールにも力を入れている。また「ボブスト認証抜型メーカープログラム」が日本でもまもなく実施される予定。さらに先端技術を採用した非接触式自動検討装置「パワーレジスター」「アキュレ

ジスター」も提供していく。水林アカウント・マネージャーは「IoTにも力を入れており、ボブストコネクトを用いてお客様の生産性を向上させるツールを提供してい

く」と述べた。最後に抜型にマイクロチップを埋め込み、抜型を機械にセットすると、過去の使用時期やショット数などが分かる「ツールリンク」を紹介した。



ボブスト社
セールスマネージャー
担当 地域チャーター
ボブスト・システム社
ボブ・アジア・マネージャー

シートシステム社/ボブスト社のボボ・セールス・マネージャーは、「パッケージ製造の理想は、最高速度での製造、不良品ゼロ、低コスト

が挙げられるが、現実さまざまな不具合に直面している。そしてこれらを解決するためには不具合の要因がいくつか挙げられる。」「その中でも、『高性能の機械を使っているのに期待するパフォーマンスが得られない』という声をよく聞くが、その原因として挙げられることは『使っているツールの重要性を過小評価している』と述べ、機械に見合った高品質の抜型、資材を使うことの重要性を述べた。

「ボブスト社、コンゴートテクノロジ、有功社シート貿易とシートシステム社4社が、皆様と一緒に協力し、最高のアウトプットを達成し理想的な世界を実現させるため、そのお手伝いをしていきたい」と結んだ。



BOXPLAN ストリッピングシステムの実演の
もよう

BOXPLAN ストリッピングシステムで
打ち込まれたストリッピングピン



熱心に見学する参加者



①クラウンピンの突起がカスをとらえ、②カスは限界を
超えるまで下方向に押し込ま
れる、③押し込まれたカスが
押し出される。

また、完全にカスを落とす
ためには、ピンやストリッピ
ングプレートがベニヤに対し
て90度で接触する必要があ
る。しかし、手作業でベニヤ
に90度に打ち込むことは難し

『BOXPLAN ストリッ
ピングシステム』について、
有功社シトー貿易の松浦氏が
説明した。

まず、ストリッピングにつ
いて、従来方式の問題点や他
社の方式について説明した。
BOXPLAN方式の特長
は、下ピンがない。



有功社シトー貿易
松浦氏

プレゼンテーション終了後
には、実機の見学に続き、2
班に分かれて、コンゴートク
ノロジーの工場見学を行った。

その後、シトーシステム社
のボボ氏からシトーシステム
の資材や実例が紹介され、質
疑応答の後、セミナーは終了
した。

い。BOXPLANは、専用
機で人の手ではできない垂直
なピン打ちを可能にした。

BOXPLAN方式のメ
リットは、①機械での準備時
間を大きく削減（下ピンおよ
びその準備時間が不要）。②
カスが完全に下に落ちるス
ペースがある（滞留しない）。③
さまざまなシートの種類に
対応。④細かいカスが確実に
落ちる。これにより、高い生
産性。時間あたり、確実にカ
スが落ちたシートの出来高
増。⑤3D高さ調節。⑥他
社方式より安価で軽量などが
挙げられる。